

要約

黒毛和種の肥育牛の飼料への飼料用米（粃米サイレージ）配合割合を確認し、30%が発育や肉質も良好で飼料コストも低減できることが分かりました。

研究成果の概要

1 背景・目的

海外からの輸入穀物に依存している牛の飼料は高値が続き、生産費に占める飼料費の割合は大きくなっています。一方、飼料用米は安価な国産飼料であり、輸入穀物の代用が可能です。

そこで、飼料用粃米を黒毛和種肥育に利用した場合の配合限界量や飼料費削減効果、さらに生産コスト削減に有効な肥育期間の短縮について研究しました。

2 内容

- 牛の嗜好性が良く保存性にも優れた「粃米サイレージ（写真）」の調製方法を確立しました。
- 粃米サイレージは、肥育全期間に濃厚飼料の原物重量比30%まで配合可能で、発育や肉質も良好であることが明らかになりました（表）。
- 1頭当たりの飼料費は、肥育開始から出荷までの20か月間（出荷時月齢30か月）で1万4千円削減できます（表）。

3 活用等

粃米サイレージは、出荷時月齢を27か月にした場合にも上記の割合で給与できます。



写真 粃米サイレージ調製方法
収穫後、破砕して発酵に適する水分と乳酸菌を添加、数ヶ月保管した後に給与する。

表 肥育成績と飼料費

	慣行肥育	粃米サイレージ 30%給与
日増体量(kg/日)	0.83	0.95
枝肉重量(kg)	530	561
BMS.No※	9	11
飼料費(千円)	337	323

※BMS.No 霜降り度合の指標。1～12まであり、数字が大きいほど霜降りが多い

関連情報

- 粃米サイレージはタンパク質が少ないため、日本飼養標準のTDN要求量の110%以上、CP要求量の130%以上となるように大豆かすを加える必要があります。
- 開封後の粃米サイレージは保存がきかないため、速やかに使い切れない場合は、こまめに脱気したり容量の小さいフレコンバッグで調製してください。
- 肥育期間を短縮した場合の試験成績は、増体系種雄牛の子牛で得られたものです。

畜産研究所 繁殖技術肉牛部

Tel. 0175-64-2231

E-mail nou_chikusan@aomori-itc.or.jp



青森産技

あおもりの未来
技術でサポート